

(6) シンナー・ボンド等の薬物

本校で最近危惧する有害情報は、一部生徒やその保護者の口から話される薬物が出回っている情報である。不確かな情報なので学校としても確認できないが、警察や地域（補導委員会、学区民育成会議等）へ情報を提供し、警戒を強化している。成人の存在が伺えるので、それが地域に蔓延しないか心配している。警察も水面下で捜査していることは署員の話から推測できるので静観している。薬物乱用防止教育。家庭への支援。

（滋賀県・60代・男性）

コンビニの駐車場で、シンナー、ポンド等の薬物が手に入るという話を聞いた。良識ある販売店以外で薬物が手に入ること。警察の生活安全課に情報を提供した。教育委員会や学校間で情報を共有する。

（佐賀県・50代・男性）

薬物入手が容易にできること。大麻や麻葉等ニュースで普通に巷に出回っているのが信じられない。密輸などもっと取り締まりを厳しく。人の出入国や、港の外国船等の検査をしっかりと欲しいです。身近な物でないと思っているのに、大学等で友人から簡単に手に入れて逮捕されていることはビックリ。

（徳島県・40代・女性）

大学生の薬物使用。薬物の有害性や怖さ、法律上どうなるかを義務教育から指導、教育を充実したほうがいい。密輸の取り締まりを厳しく。暴力団の取り締まり。撲滅。

（徳島県・40代・女性）

最近話題の大麻に関する情報がインターネットで簡単に閲覧できる。大麻の種の販売や生育方法などが、事細かく紹介されている一方で、健康被害などの情報は無い。もっと健康被害に関する情報を知らせるべき。

（大阪府・30代・男性）

平成元年より夜間パトロールを実施しています。当初3～4年間は、シンナー吸引の現場発見、シンナーの現物の押収（一斗缶×3）等が多々ありましたが、現在は比較的落ち着いています。建築現場・ケミカル工業所等でのシンナーの保管の管理を厳重にお願いしたい。制服のお巡りさんの巡回数を多く望みます。夜間の暴走行為の取り締まり強化。

（兵庫県・70代・男性）

シンナー乱用の事例： 過去にシンナー乱用の情報をもとに地域補導パトロールの時、5・6ヶ所のシンナーパーティー（乱用した後）の後と思われる場所を発見したため、シンナー乱用ポイントとして、地域のパトロールポイントとして看板設置を行った。発見されたシンナー缶（一升缶）の数は空き缶を含め10数に及んでいた。使用後の袋は200袋以上発見された。シンナー缶（一斗缶）は盗んできたものだと思われたが（工事現場から）別に盗難の被害届等を出されていないと聞いた。使用者の管理責任があると思う！。物と場所を取り上げる活動、シンナーポイントのパトロールと「地域の目」強化ポイント看板の作成と設置。塗料メーカーは出荷（生産時）から缶へ製造番号を刻印等による流通後の管理責任強化をすること。

（熊本県・50代・男性）

高校生がシンナー遊びをしている所を見ました。ドリンク剤のビンに入れて、皆で（4人）回しながら吸っていました。シンナーは体に悪いし、その後長い時間その場から離れられずにいたようです。そのうち、仲間らしき人も加わり、大声で騒いでいました。具体的にはありませんが、学校の集まりで話した事があります。体に有害と思われるものは販売を規制したらよいと思う。

（栃木県・60代・女性）

青少年の健全育成の為にこれで良いのか疑問を持ちます。時代を担う青少年が健在に成長すべき時代に、薬物や有害な性的刺激を受ける事は成長段階で好ましくない事だと思う。特に薬物は生涯その人の人生を駄目にしてしまいます。薬物は薬害中毒により薬から一生抜け出せない体となり、また、有害な性的刺激を受けることは成長段階で好ましくないと思う。このようなことが犯罪に結び付く源ではないかと思う。少年補導員や小・中学校の先生を集めての講演会の開催、街頭補導活動、子供たちとともに活動する社会参加活動事業。行政は有害サイトを監視する体制の整備、業界は青少年に対する情報提供のモラルの徹底。

（神奈川県・60代・男性）